

たまなしく農村風景写真コンクール 入賞作品記念集

特集



第3回季節賞(春)「桃花爛漫」

入賞作品

- 第1回(平成19年度)
- 第2回(平成20年度)
- 第3回(平成21年度)
- 第4回(平成22年度)
- 第5回(平成23年度)
- 第6回(平成24年度)
- 第7回(平成25年度)
- 第8回(平成26年度)
- 第9回(平成27年度)
- 第10回(平成28年度)

テーマ

- | | |
|------------------|-----|
| 「農村からのメッセージ」 | p12 |
| 「未来に伝えたい農村風景」 | p13 |
| 「農村の四季」 | p14 |
| 「農村の四季」 | p15 |
| 「心のふるさと山梨」 | p16 |
| 「心のふるさと山梨」 | p17 |
| 「私たちの彩(えが)くふるさと」 | p18 |
| 「私たちの彩(えが)くふるさと」 | p19 |
| 「つなげよう故郷のちから」 | p20 |
| 「活気に満ちあふれた農山村」 | p21 |

やまなし農村風景 写真コンクールの概要

- 農業・農村は、私たちが快適で安全に生活を営むうえで大切な役割を果たしています。
- そこでは食料供給のみならず、洪水や災害を防ぐ国土保全機能や、やすらぎ、潤いをあたえる場を提供しています。
- しかしながら、この農業・農村を次の世代へと引き継いでいくためには、そこに住む人々の自覚や努力だけでなく、県民全ての方の理解が必要です。
- そこで、山梨県内の農村風景を写し、鑑賞することで、広く県民の皆様に、食料、農業、農村地域の現状を知っていただき、優れた農山村の景観と自然を保全する県民意識の高揚を図ることを目的とし本コンクールを実施しています。

平成19年度から始まった当写真コンクールは平成28年度で10回目を迎え、これまで5,811点の応募をいただきました。

審査会では、審査委員長に山梨県出身の山岳写真家白籬史朗氏を迎えて厳選なる審査の結果、185点が入賞されました。

本誌ではページ数の都合上、すべての作品を掲載することができませんでしたが、県ホームページで入賞作品を掲載していますのでご覧ください。

入賞された皆さまには心からお祝い申し上げます。
また、たくさんの応募をいただき、ありがとうございました。

—お問い合わせ—

県ホームページ (<http://www.pref.yamanashi.jp/kouchi/photo.html>)

山梨県農政部耕地課（やまなし農村風景写真コンクール事務局）

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 TEL 055-223-1627

中北農務事務所

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4 TEL 0551-23-3078

峡東農務事務所

〒404-8601 甲州市塩山上塩後1239-1 TEL 0553-20-2706

峡南農務事務所

〒409-3606 西八代郡市川三郷町高田111-1 TEL 055-240-4135

富士・東部農務事務所

〒402-0054 都留市田原3-3-3 TEL 0554-45-7830